

# 協和テクノロジーズ株式会社

通信ネットワークの設計、構築、保守まで、情報通信設備に関する幅広いソリューションを提供。

RPAツールの導入を機に業務プロセスの見直しを行い、定型業務を自動化。属人化された業務を改善し、約25時間/月の残業時間を削減！

## ITツール導入のきっかけ

複数の受発注システムに関する事務処理業務が属人化。人事異動による引継ぎに多くの時間がかかり、非効率な状況に。

弊社では全社統一の受発注システムと、部署独自の受発注システムを混在し活用しています。毎月月末にデータを統一するため、大量のデータを再入力する必要性があり、多くの時間を要していました。また、この業務は特定の社員にしか処理できない、属人化された業務手順となっており、そのことも課題として認識されていました。

そのような中、事務処理に従事している社員が人事異動となり、その引継ぎに多くの時間を要しました。また、異動後も元の業務をフォローする必要があるなど、非効率な状況が続きました。

更に、社内で働き方改革プロジェクトが立ち上がり、業務効率化に向けた取り組みを加速化させる動きもあり、この機会に業務プロセスの見直しを行い、属人化防止・定型業務の自動化に取り組みました。

## 取り組み

日本語対応で、プログラミング未経験でも定型業務を簡単に自動化できる「RPAツール」を導入



自動化・効率化  
ツール

導入したITツール：

RPAツール「NEC Software Robot Solution」（日本電気株式会社）

PCで行うマウス操作やキー入力などを自動実行させ、条件判断や繰り返し処理などを行う。プログラミング未経験者でも、日本語対応で簡単に操作できる使い勝手の良いツール。

従来より弊社は自社導入したRPAツールの販売代理をしています。働き方改革のツールとして、当RPAツールが課題解決に適していると考え、自社への導入を決めました。

## 効果

入力時間の短縮、ミスの軽減、チェック時間の減少が積み重なり前年度同月残業時間と比較し、約25時間/月の残業時間を削減！

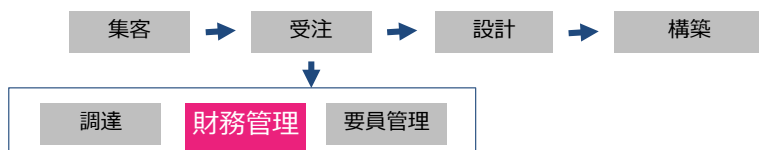
RPAツール担当のSEを中心に属人化された業務の内容を分析し、「複雑な事務処理の業務」、「単調な反復性の高い業務」に区分し、自動化に向け準備を始めました。

まず「単調で反復性の高い業務」の作業工程ごとにRPAツールでロボット（シナリオ）を設定し、属人化された定型業務を自動化。可能な限り既存の業務工程を維持しつつ、誰でも理解できるよう工程ごとにロボットを作成したため、業務に直接携わっていない担当者でも問題なく利用・編集できるようになりました。

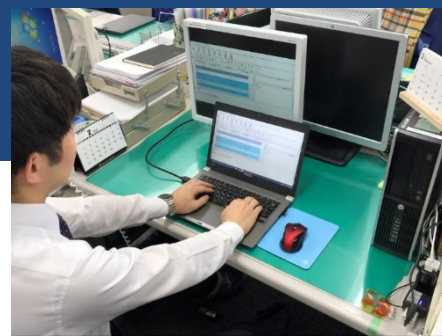
これにより、入力時間の短縮・ミスの軽減・チェック時間の減少につながり、前年度の同月残業時間と比較すると、約25時間/月の残業時間が削減されました。また、他の業務のフォローや月初め業務の前倒し作業も可能になり、業務効率も飛躍的に向上しました。

さらに、ロボットを設定するにあたり、業務プロセスが見える化したことで、属人化を防止することもできました。

## 業務フローのココに効く！



## ITツールで生産性向上事例



## 協和テクノロジーズ株式会社

情報通信業

〒530-0016

大阪府大阪市北区中崎1-2-23

創業：1948年

資本金：98,600,000円

従業員数：正社員460名

<https://www.kyotec.co.jp/>



## アドバイス

RPAツールの導入は、コスト削減のイメージが強いかと思いますが、業務プロセスを分析する「可視化」による業務改善のほうが効果が高いと思います。

また、繰り返しの単純作業から解放された担当者の業務は付加価値の高い仕事に多くの時間を費やすことができ、仕事への満足度（達成感）が高まります。

